保存用

JNV-2AI-OD3

コイズミ学習デスク　組立説明書（保証書付き）

このたびはコイズミ学習家具をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

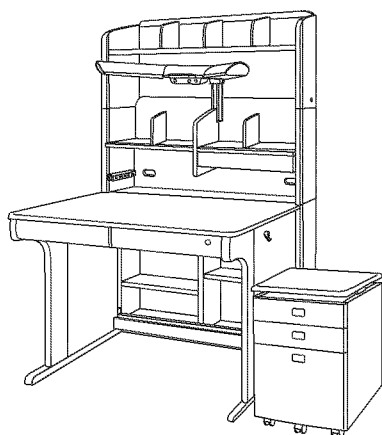
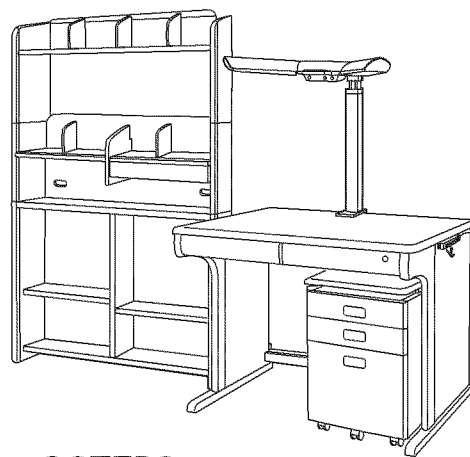
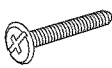
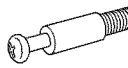
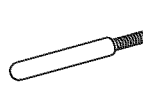
●この組立説明書をよくお読みのうえ正しく組立てしてください。
●事故防止、安全のため、組立説明書に記載の注意マークをお守りいただき組立てしてください。
●使用上や安全上のご注意は、別冊の取扱説明書をよくお読みください。
●組立てしたあとも組替えや修理の際にお役立ていただくために、大切に保存してください。
●文中のイラストは共通の為、現物と異なる場合がありますが、ご容赦ください。

取扱説明書のマークについて

●この説明書には下記のマークを付けています。
⚠気をつけていただきたい注意内容
⊘行ってはいけない禁止内容　❗必ず行っていただきたい指示内容
●第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
●この説明書は、大切に保管してください。
●本製品に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店もしくは弊社にご連絡ください。

■組立ての前に

ステップアップデスクは、STEP1、STEP2、STEP3と、用途に応じて3種類のスタイルに組み立てることができます。どのスタイルにするか決めてから組み立ててください。

※イラストは共通化していますので、購入された商品とデザインが異なる場合があります。

●STEP1（スタンダードスタイル）
●STEP2（ユニットデスクスタイル）※左右の組替えが可能です。
●STEP3（セパレートスタイル）

●展示品とお届け品とでは多少木柄や色が違うことがあります。
●力の掛かり具合によっては表面に押しキズ、打ちキズ、塗装はげ等を生じることがあります。

必ず2人以上で作業を行ってください。

品番 ODS-595NS　ODS-596BS

1 シェルフの組立て方法

※シェルフから組立てすると少ないスペースで組立てできます。

■シェルフ付属品

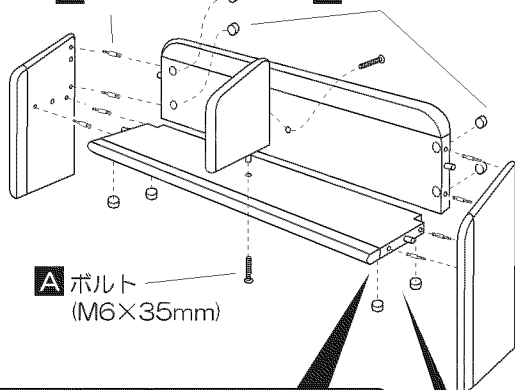
A ボルト(M6×35mm)	B 連結ピン	C 回転金具（大）	D 回転金具（小）	E 穴埋めキャップ	F ナット用キャップ	G 樹脂棚ダボ
SAT1BZ635	SAT6MB605	SAT6MKN18	SAT6MKK15	SAT9AC17V SAT9AC18R	SZC9DC07V SZC7DC06R	SZCTTD09G
		シルバー	ブラック			
×6	×16	×8	×8	×3	×1	×8

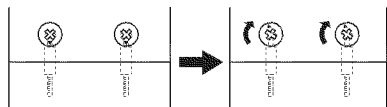
H コンセントボックス	I ボルト(M6×35mm)	J 転倒防止金具	K フォトフレーム	L フォトフレーム支柱ピン
KRE9SW10L	SAT1BZ635	SZC8TN002		
×1	×1	1セット	×1	×1

※枠内の9桁表記は、部品品番となります。キャップ類は、上段がNS色、下段がBS色の部品品番となります。

⚠小さな部品の取扱いには、十分ご注意ください。
➡お子様が飲み込むことがあります。

⚠スタイルにより、使用しない部品や部材が生じることがあります。
組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。
➡部品の紛失の場合は再度ご購入いただくことになります。

① 上棚の組み立て

B 連結ピン
D 回転金具(小)
A ボルト
(M6×35mm)

回転金具の取り付け

はめ込み時に▼印を連結ピンの方向に向ける

まわす

② 上棚と中棚と下棚の取り付け

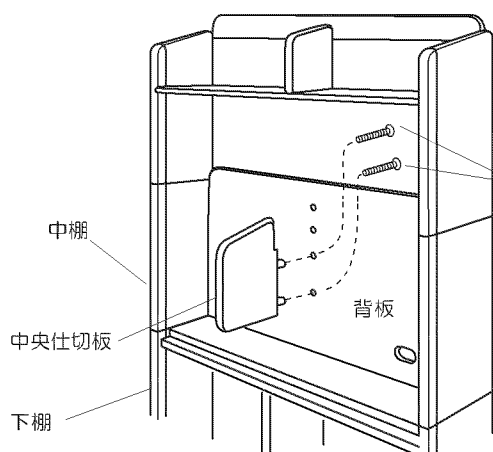
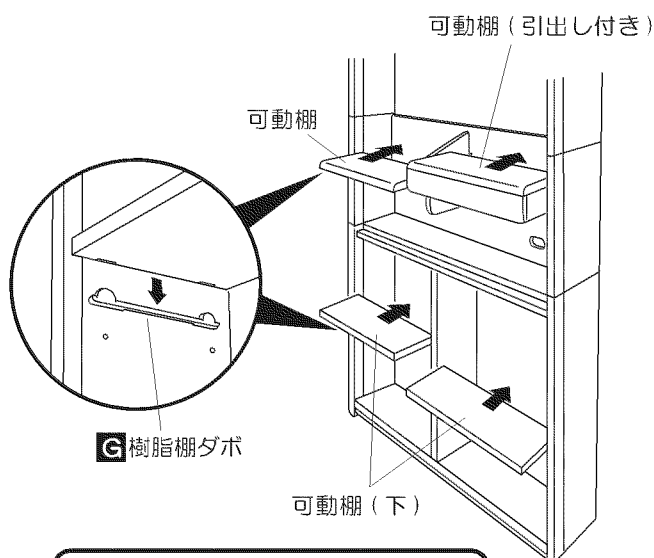
シェルフ側板

はめ込み時（▼印を下に向ける）
（分解時）

締め付け時

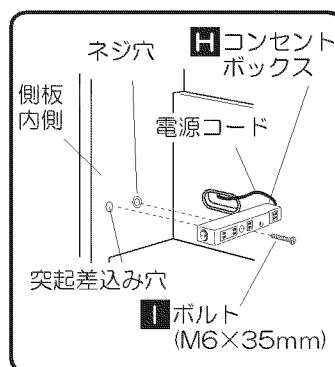
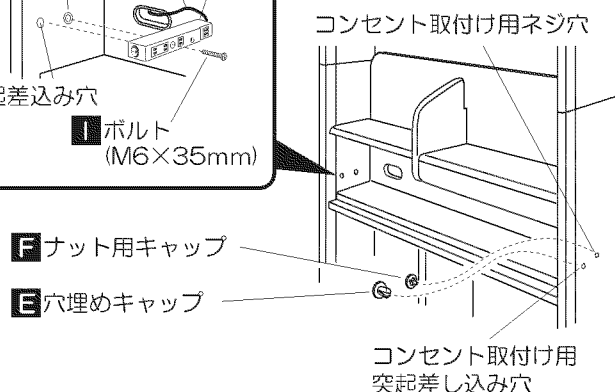
上棚
C 回転金具(大)
B 連結ピン
中棚
B 連結ピン
C 回転金具(大)
下棚

③ 中央仕切板の取り付け

A ボルト
(M6×35mm)
中棚
中央仕切板
背板
下棚

④ 上棚(下)･下棚の可動棚の取り付け

⊘可動棚の耐荷重は 15 kgです。
➜15 kg以上のものを乗せると破損やケガの原因になります。

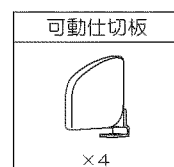
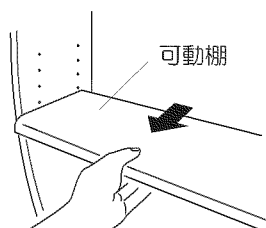
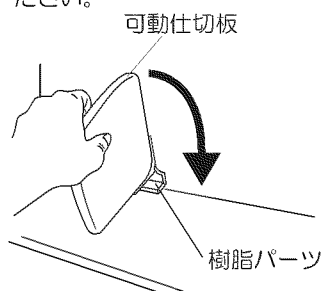
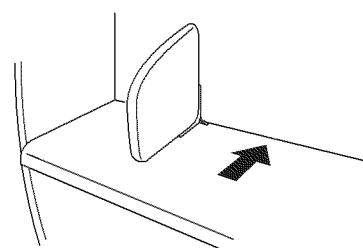
⑤ 上棚(下)へのコンセントの取り付け

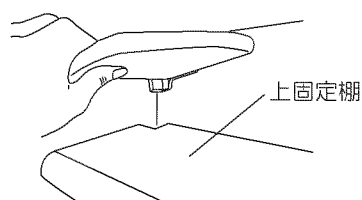
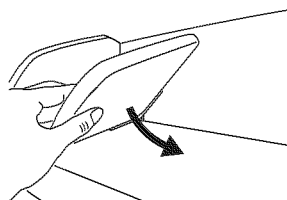
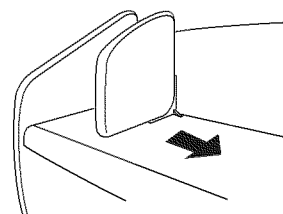
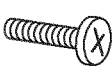
コンセントは上棚の側板内側に、左右どちらでも取り付けることができます。

※本体に取付けする場合は、P9 の ❸ をご参照ください。

⚠コンセントボックスを取付けない箇所の突起差込み穴には E 穴埋めキャップを、ネジ穴には F ナット用キャップをはめ込んでください。

2 可動仕切板の取付け方法

可動仕切板
×4

■可動棚への取付け方法

⚠可動仕切板を取り付ける際は、可動棚の上に物がのっていないことを確認してください。

❶ 可動棚を持ち上げて、手前に引き出してください。

❷ 可動棚の後に可動仕切板の樹脂パーツをはめ込んでください。

❸ 樹脂棚ダボが浮いていないか確かめてから、可動棚をもとの位置に戻してください。

■上固定棚への取付け方法

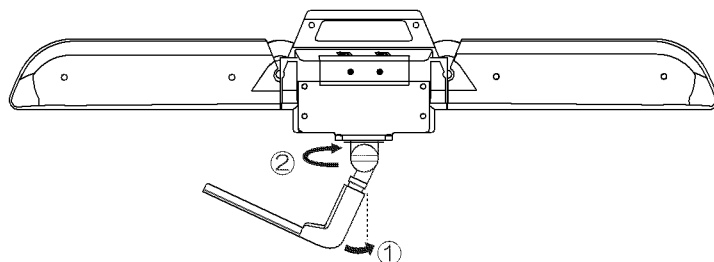
❶ 上固定棚の後角の欠き取り部分に樹脂パーツを寝かせた状態で差し込んでください。

❷ 差し込んだ状態で着脱可動仕切板を垂直におこして上固定棚にはめ込んでください。

❸ 横にスライドさせて使用してください。

3　フォトフレームと支柱ピンの取付け方法

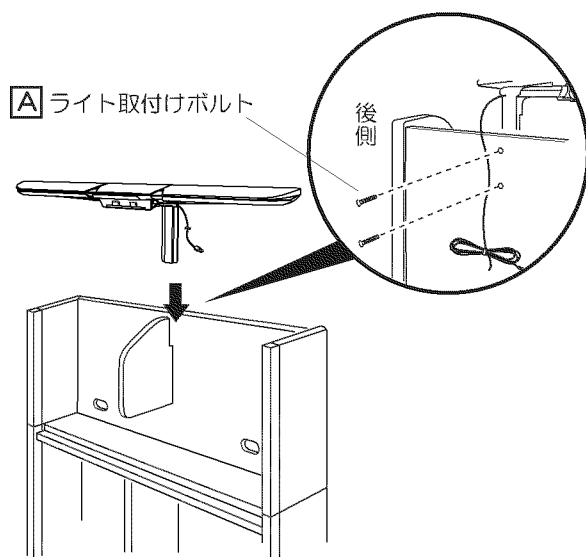
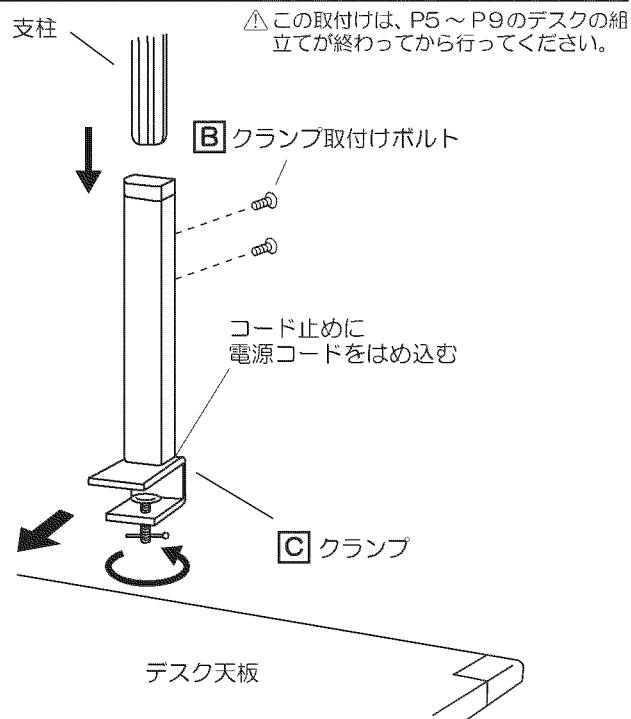
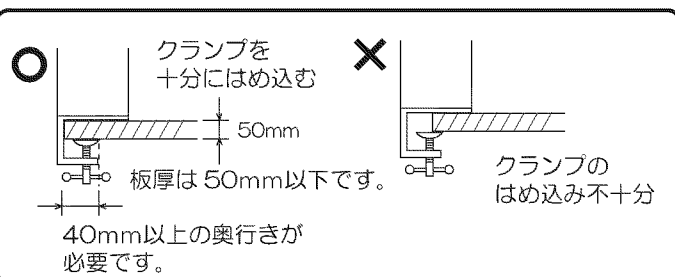
裏面のネジ穴にピンをねじ込んでください。

4　照明器具の取付け方法

■ライト付属品

A ライト取り付けボルト	B クランプ取付けボルト	C クランプ
M6×30mm（長）	M6×15mm（短）	
×2	×2	×1

A のボルトは最初から取り付けてあり、
B のボルトはクランプの後にテープ止めしてあります。

⚠箱から取り出した後、①②の手順で矢印の方向に可動部を動かして正しい位置に調整してください。

STEP1の場合

STEP2、STEP3の場合

⚠この取付けは、P5～P9のデスクの組立てが終わってから行ってください。

5 デスクの組立て方法

※1ページの組立てスタイルを決め、組み立ててください。

■デスク付属品

A ボルト(M6×35mm)	B 連結ピン	C 回転金具(大)	E 穴埋めキャップ	F ナット用キャップ	M ボルト用キャップ
SAT1BZ635	SAT6MB605	SAT6MKN18	SAT9AC17V SAT9AC18R	SZC9DC07V SZC7DC06R	SAT7BC60V SAT6BC60R
		シルバー			
×13	×2	×2	×2	×3	×12

N カバンフック	O トラスボルト(M6×25mm)	P ボルト(M6×20mm)	Q ボルト(M6×90mm)	R 拡張天板受金具	カギ
SAT9KF07V SATTKF07R	SAT6BW625	SAT6BU620	GKU2BU690	SZC2LKSUK	LTFTKD503
×1	×1	×6	×2	×2	1セット

※枠内の9桁表記は、部品品番となります。キャップ類は、上段がNS色、下段がBS色の部品品番となります。

⚠小さな部品の取扱いには、十分ご注意ください。
➡お子様が飲み込むことがあります。
スタイルにより、使用しない部品や部材が生じることがあります。
⚠組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。
➡部品の紛失の場合は再度ご購入いただくことになります。

⚠STEP2・3で拡張天板を取り付け、天板を広く使う場合は、10ページに記載の拡張天板取付け方法をご参照ください。

STEP1(スタンダードスタイル)、STEP3(セパレートスタイル)の場合

※STEP2の場合は8ページへ進んでください。

① ・側板と背板の取り付け ・拡張天板の収納方法

❗上背板(大)はネジ穴のある面を後側にして組み立ててください。

A ボルト(M6×35mm)
M ボルト用キャップ
側板(左)
上背板(大)
ネジ
前
後
拡張天板
B 連結ピン
C 回転金具(大)
下背板(小)
側板(右)
A ボルト(M6×35mm)
M ボルト用キャップ
B 連結ピン

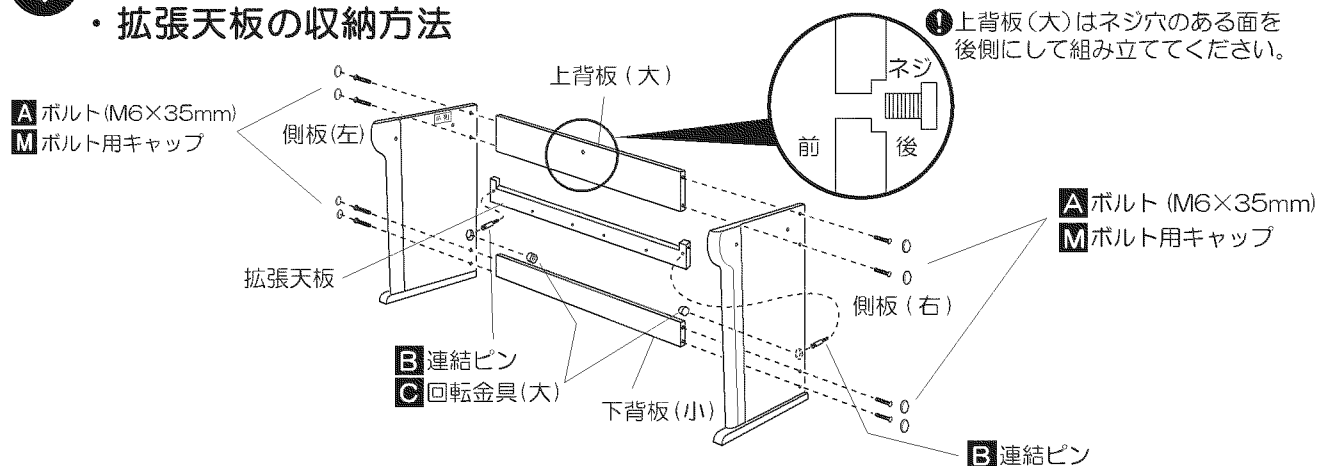
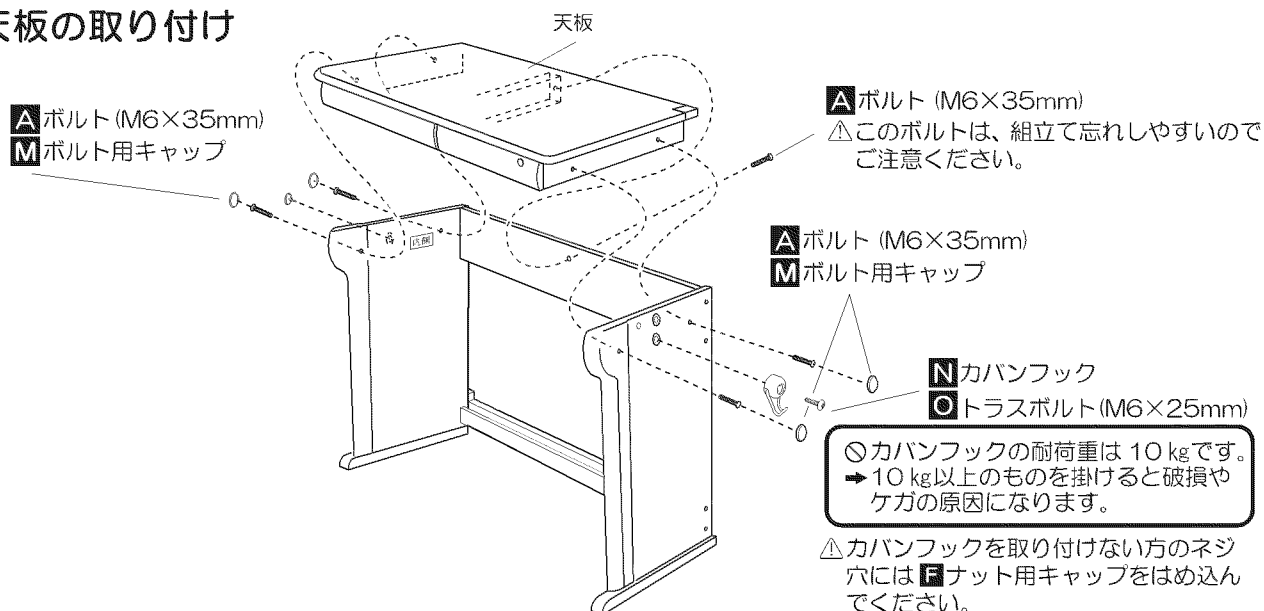
② 天板の取り付け

天板
A ボルト(M6×35mm)
M ボルト用キャップ

A ボルト(M6×35mm)
⚠このボルトは、組立て忘れしやすいのでご注意ください。

A ボルト(M6×35mm)
M ボルト用キャップ
N カバンフック
O トラスボルト(M6×25mm)

⊘カバンフックの耐荷重は10kgです。
➡10kg以上のものを掛けると破損やケガの原因になります。

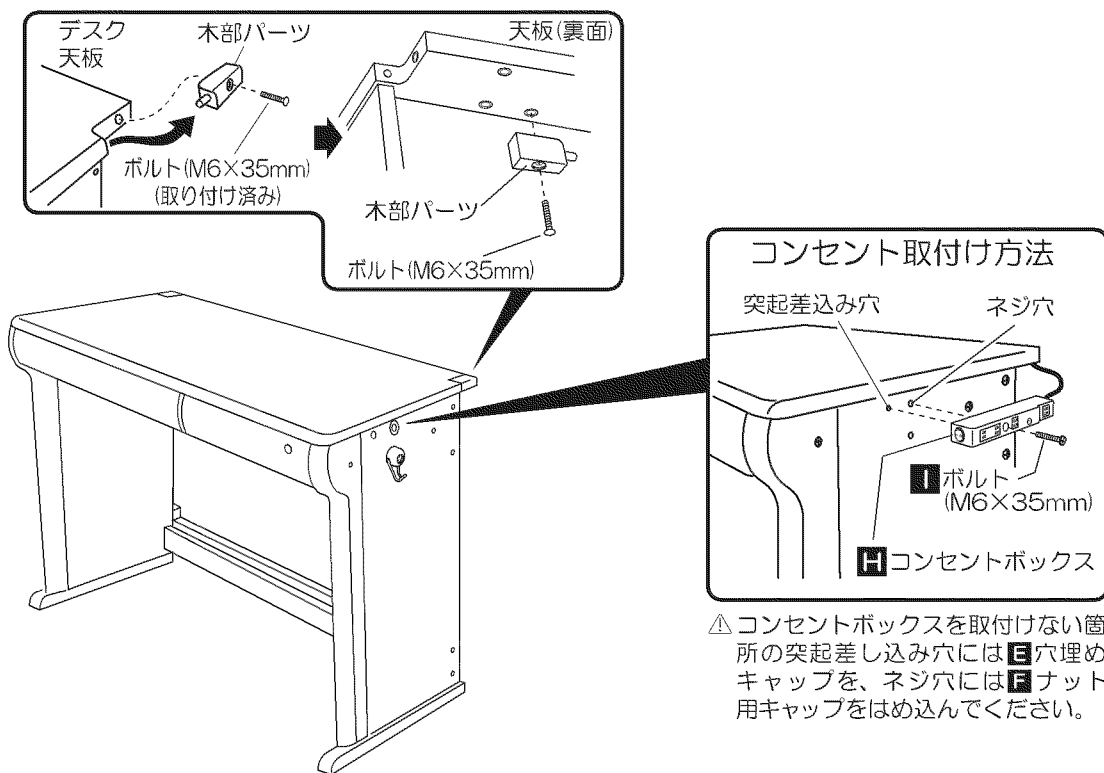
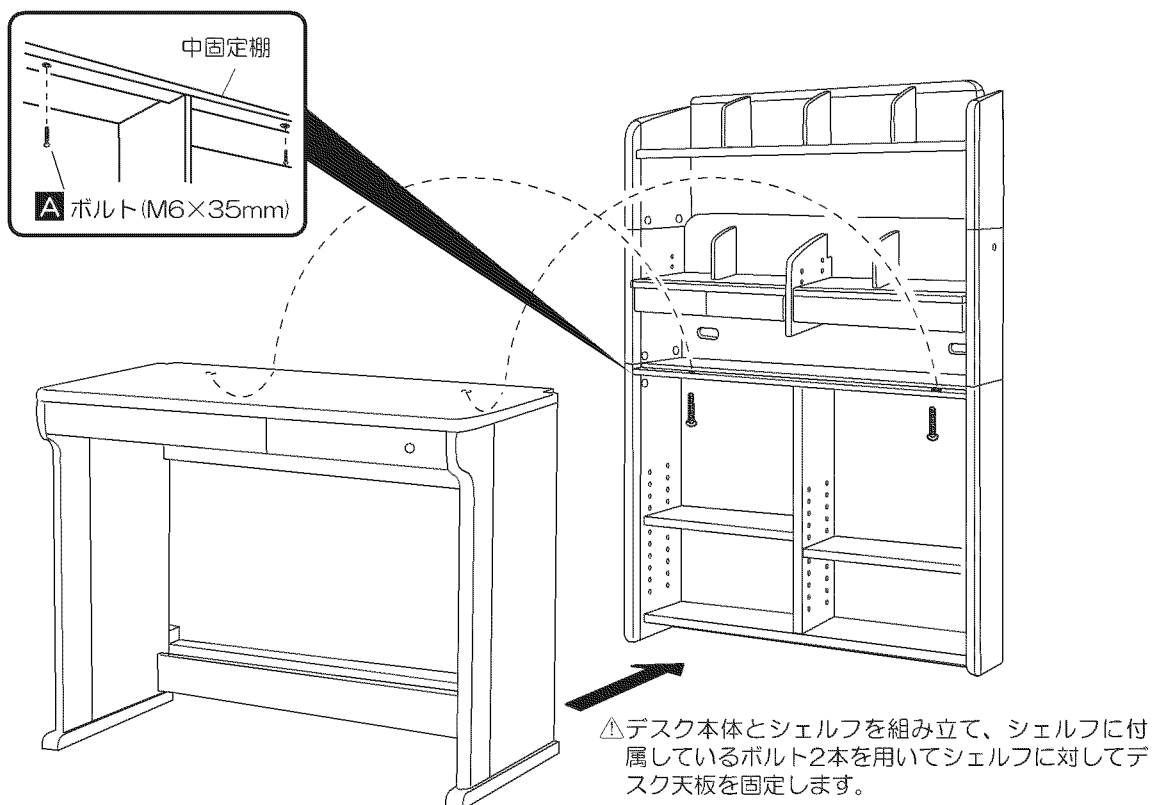
⚠カバンフックを取り付けない方のネジ穴には F ナット用キャップをはめ込んでください。

③ その他の部材の取り付け

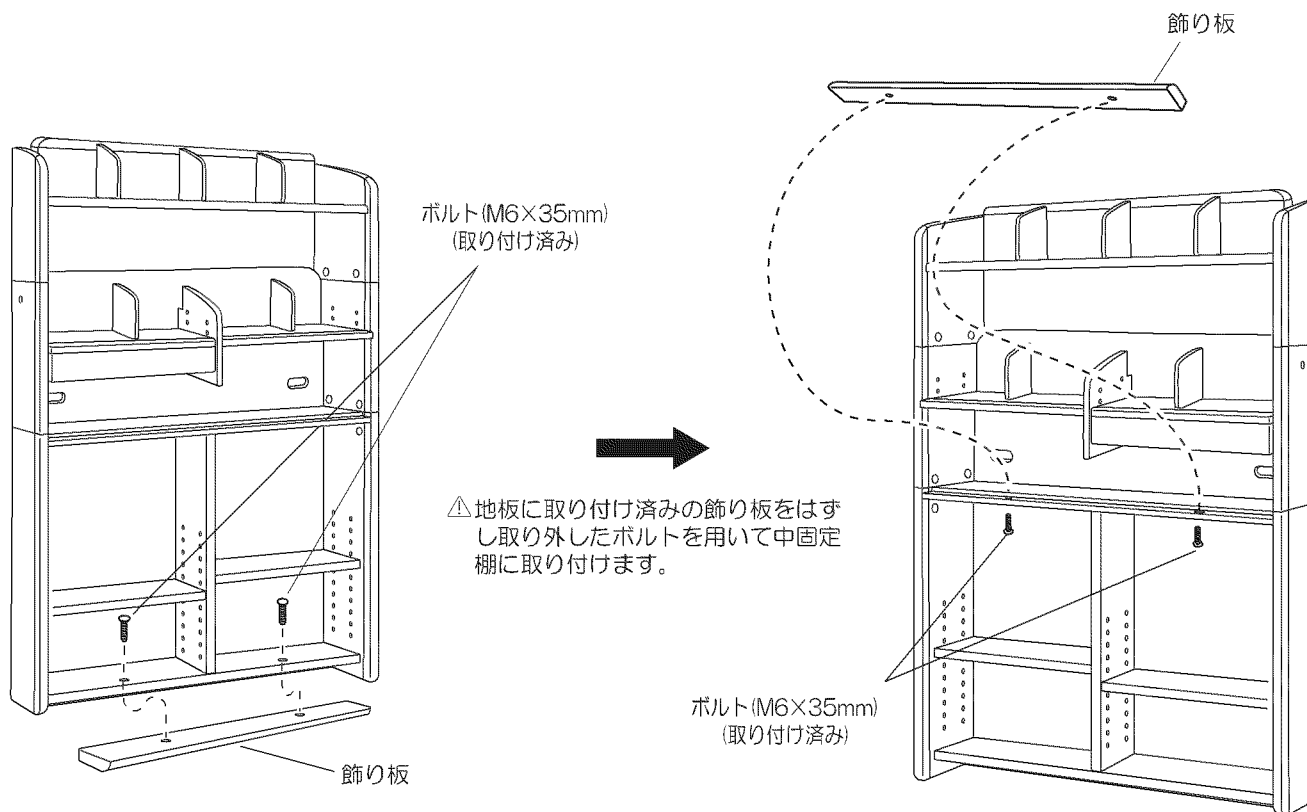
■STEP1（スタンダードスタイル）の場合

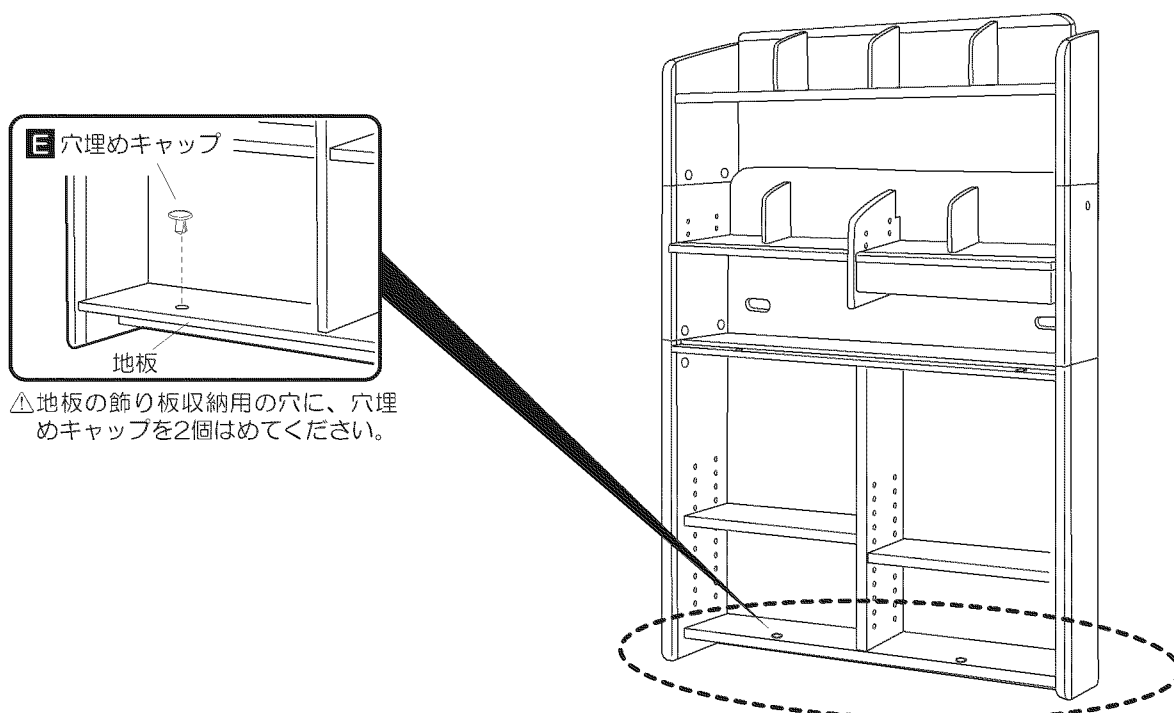
①・天板木部パーツの取り外し、取り付け方
・デスクへのコンセント取り付け

⚠コンセントボックスを取付けない箇所の突起差し込み穴には E 穴埋めキャップを、ネジ穴には F ナット用キャップをはめ込んでください。

②シェルフとデスクとの組み付け

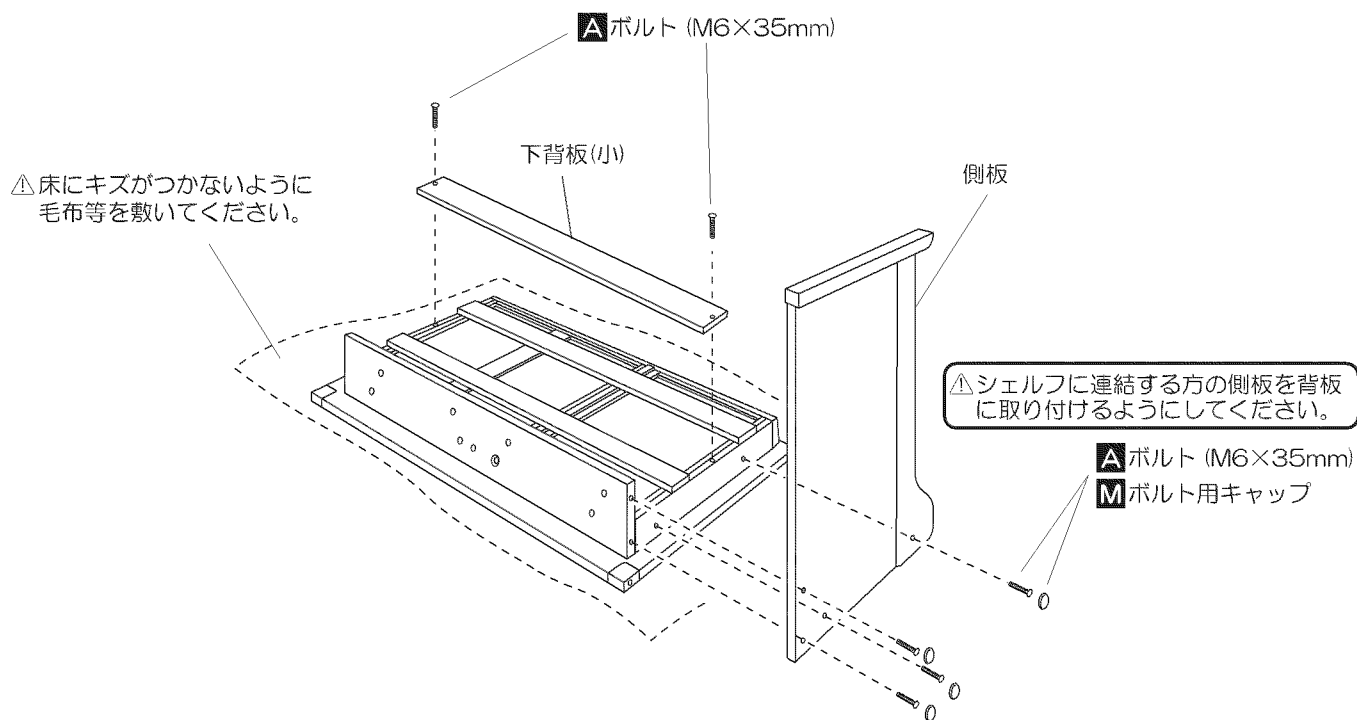
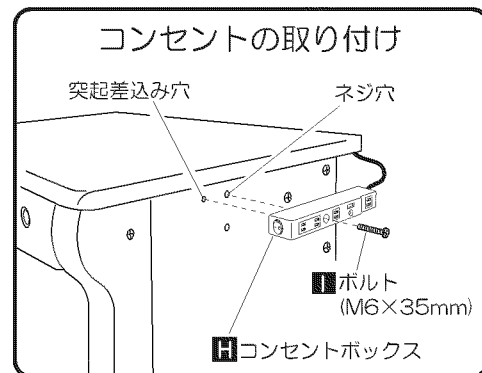
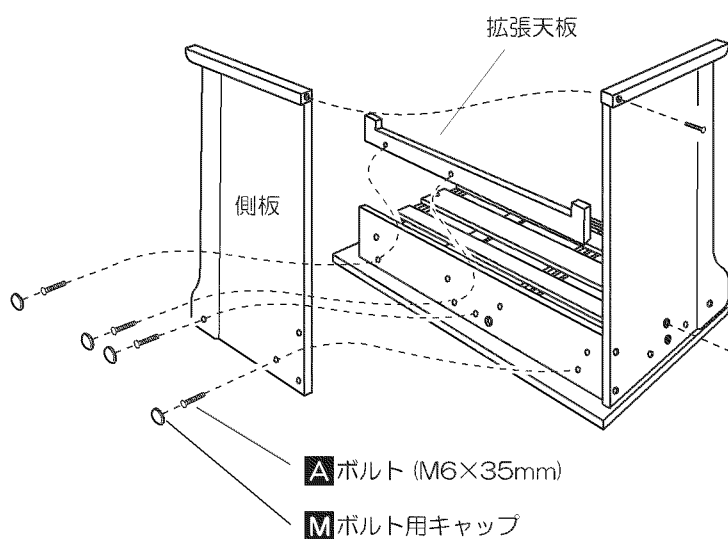
⚠デスク本体とシェルフを組み立て、シェルフに付属しているボルト2本を用いてシェルフに対してデスク天板を固定します。

■STEP3（セパレートスタイル）の場合

①シェルフの飾り板の取り外し、取り付け方

②シェルフへの穴埋めキャップの取り付け

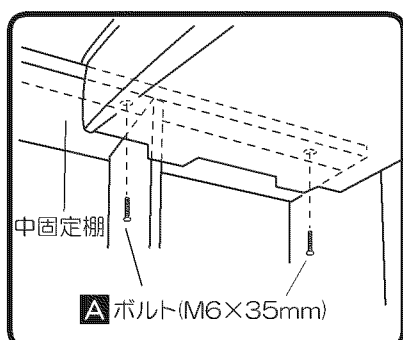
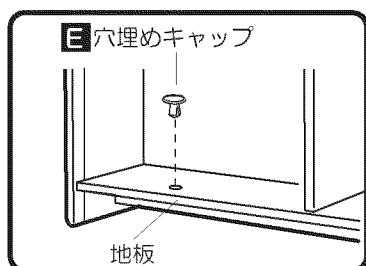
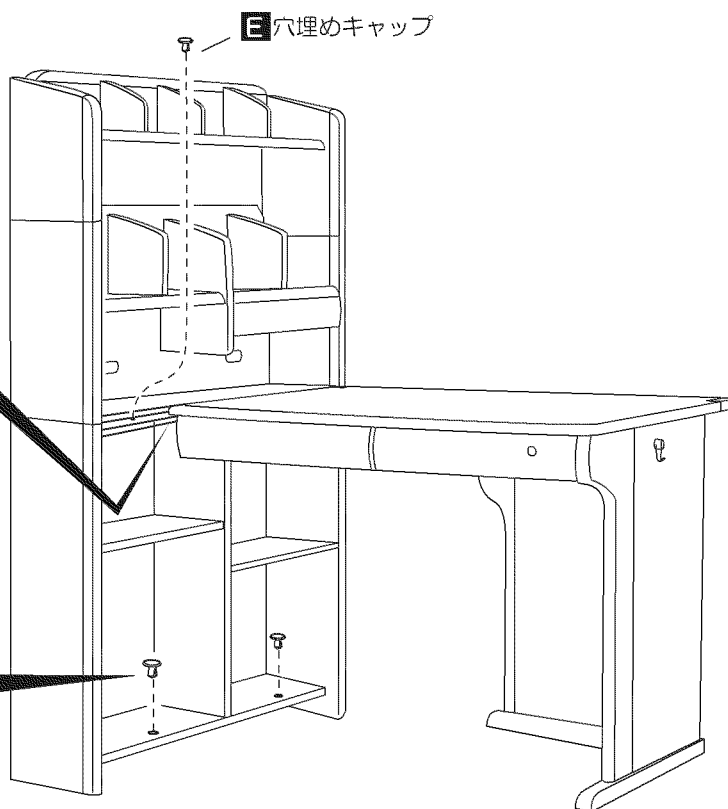
デスク本体とシェルフを組み立ててそれぞれ別々で使用することができます。

STEP2（ユニットデスクスタイル）の場合

※ここでは、デスクの左がシェルフになる場合の説明となっています。（この真下の図）
右がシェルフにしたい場合は、この図を反転させて組立ててください。

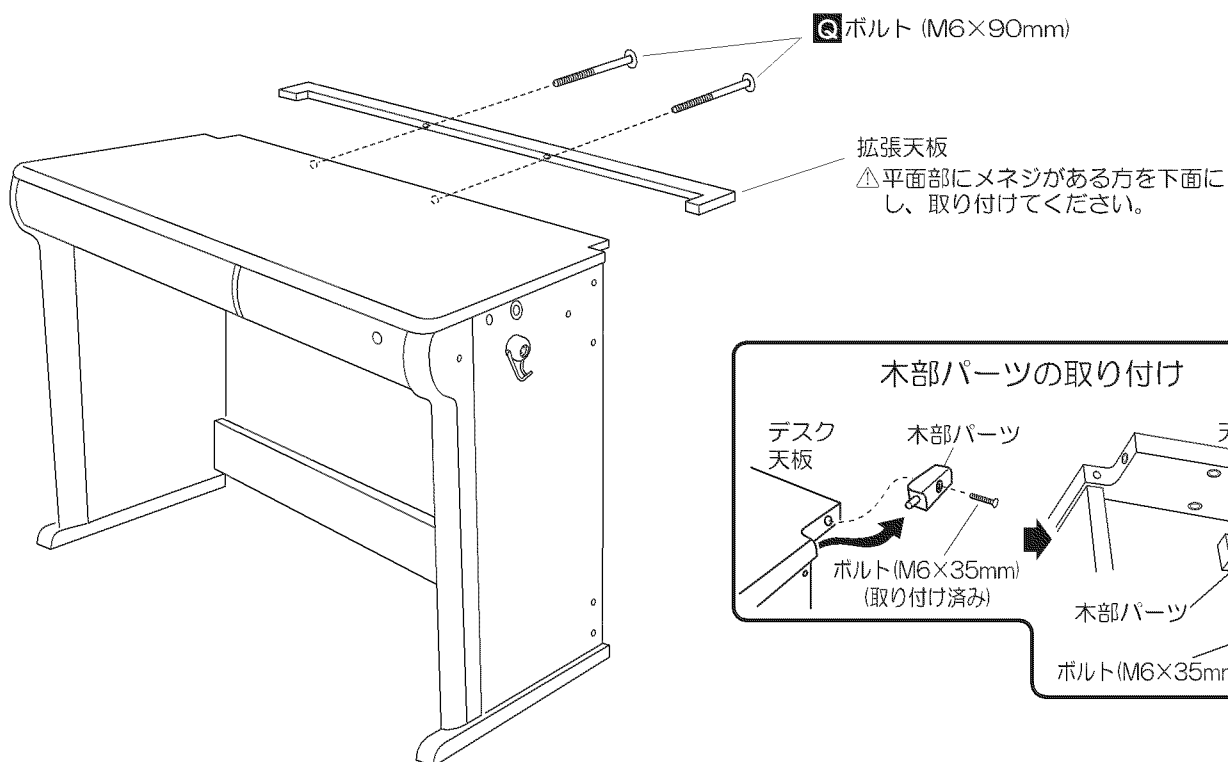
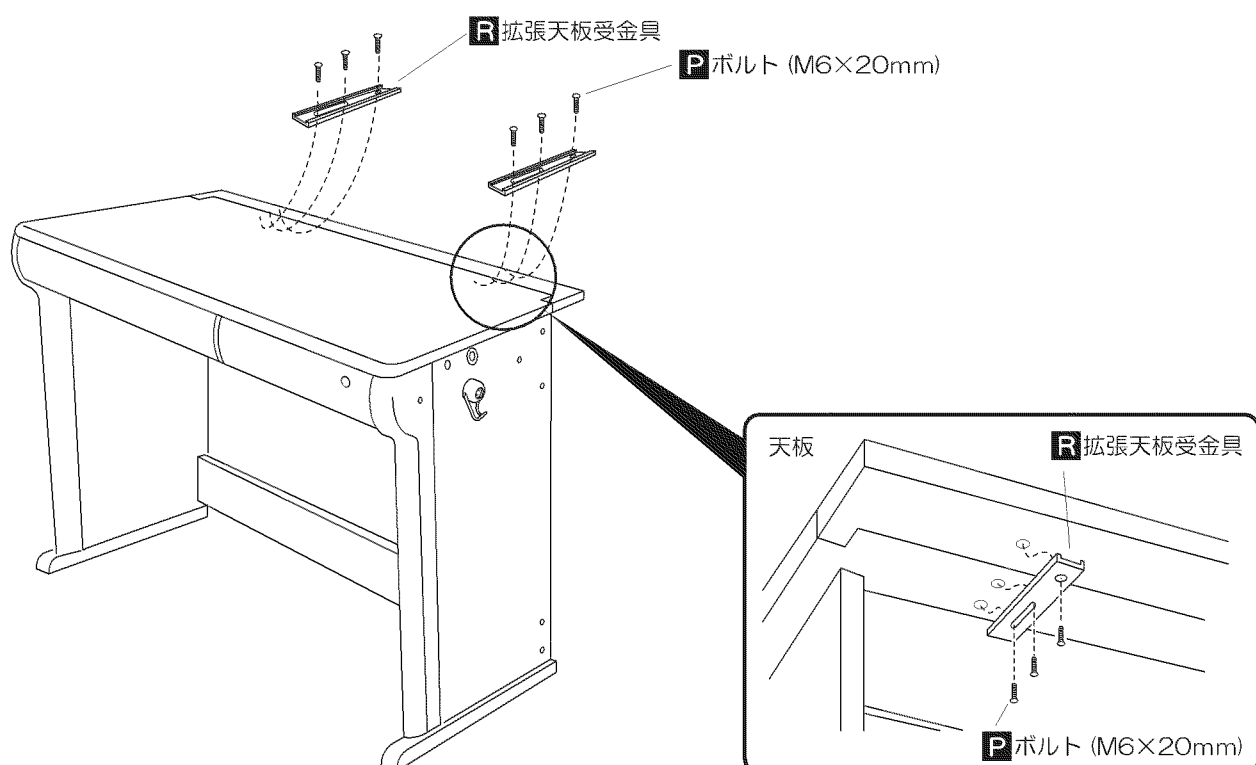
❶ 天板と上背板（大）の取り付け

❷ ・天板、上背板（大）と側板との取り付け
・下背板（小）の収納方法

③ ・側板の上背板（大）と側板への取り付け
・デスクへのコンセントの取り付け
・拡張天板の収納方法

⚠コンセントボックスを取付けない箇所の突起差し込み穴には D 穴埋めキャップを、ネジ穴には E ナット用キャップをはめ込んでください。

⚠カバンフックの耐荷重は 10 kgです。
➡10 kg以上のものを掛けると破損やケガの原因になります。

④ ・シェルフとデスクの組み付け
・シェルフへの穴埋めキャップの取り付け

⚠デスク本体とシェルフを組み立て、シェルフに付属しているボルト2本を用いてシェルフに対してデスク天板を固定します。

⚠地板の飾り板収納用の穴埋めキャップを2個はめてください。

6　拡張天板取付け方法

※STEP2、STEP3の場合のみ

❶ 拡張天板の取り付け

❷ 拡張天板受金具の取り付け

7　ワゴンの組立て方法

※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

■キャスターの取り付け

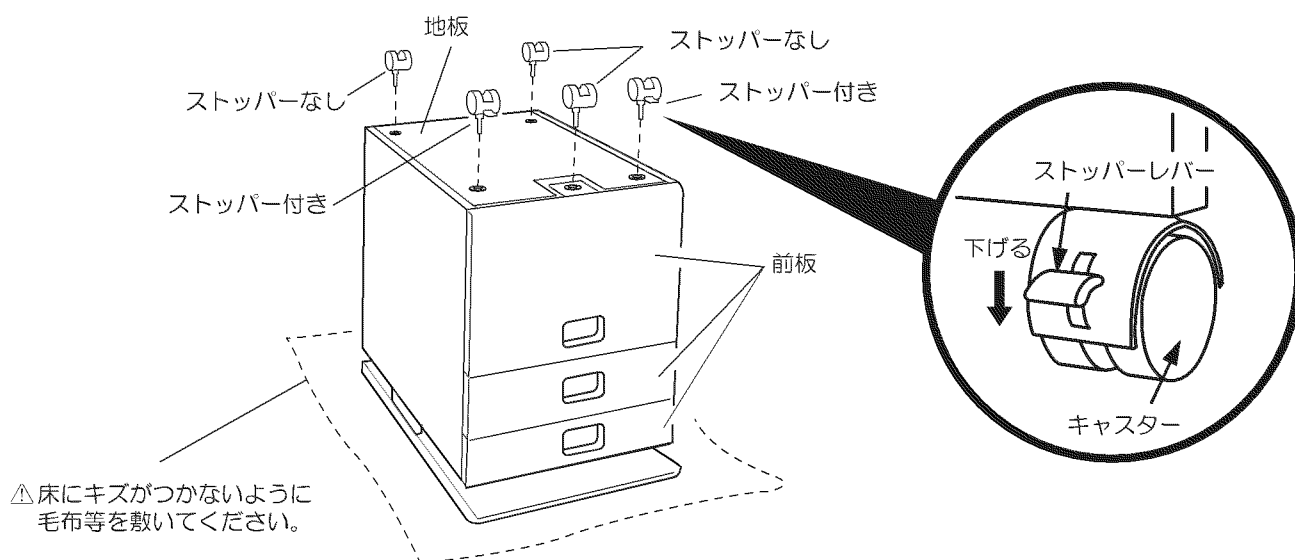
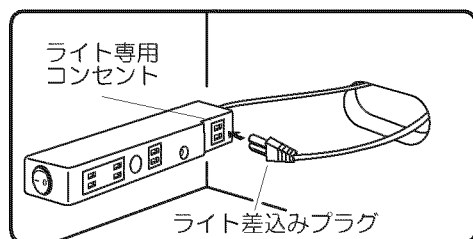
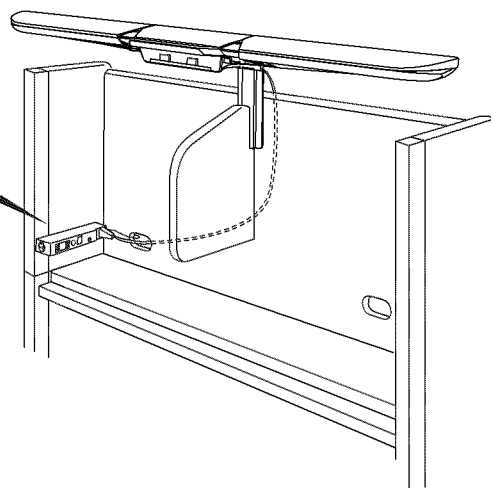
①地板の裏にキャスター4個を差し込んでください。前側には、ストッパー付きキャスター（2個）を取り付けてください。

②下段引出しの下のキャスター取付け穴に、キャスター（ストッパーなし）1個をしっかりと差し込んでください。

●ワゴンはキャスターにより、自由に移動できます。

●移動を止めたい時は、ワゴンの前方両端のキャスターのストッパーレバーを押し下げてください。

ワゴン付属部品		
キャスター（5個入り）	ペントレー	仕切板（下引出し用）
SAT9WC94G	SAT2PE52G	
×1 セット	×1	×2

⚠キャスター１セットは、ストッパー付きが２個
ストッパーなしが３個となります。

8　ライトとコンセントの結線

⚠コンセントボックスの一番奥のコンセントにライトの差込みプラグを差し込んでください。
ライト専用コンセント以外のコンセントに、ライトの差込みプラグを差し込んだ場合コンセントボックスのスイッチでのライトの点灯・消灯はできません。

分解と組替方法

- 引越しなどで分解する必要がある場合は、この組立説明書の表紙のイラストのどのスタイルになっているかを確認いただき、そのスタイルの組立て方法の内容をよくお読みいただき、分解してください。
- スタイルを組替えする場合は、この組立説明書の表紙のイラストのどのスタイルになっているかを確認いただき、そのスタイルの組立て方法の内容をよくお読みいただきながら、分解していただき、さらに表紙のイラストのどのスタイルにするかを決定のうえ、そのスタイルの組立て方法の内容をよくお読みいただき、組立してください。
- 分解や組替えの際には、部材や部品を紛失しないよう、十分注意してください。
- 分解や組替えがわかりにくい場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、弊社お客様相談室にご相談ください。
- 組替え方法については、弊社ホームページに詳細を記載している場合がありますので、組み替えの際には一度ご確認ください。http://kagu.koizumi.co.jp/

コイズミ学習机保証書

＜無料修理規定＞

1.組立説明書、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って**正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理**をさせていただきます。
　①無料修理をご依頼になる場合には**商品と本書をご持参、ご提示のうえお買い上げの販売店にご依頼**ください。
　②お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には下記のご相談窓口へご連絡ください。

2.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
　①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
　②お買い上げ後の落下などによる故障および損傷
　③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源による故障および損傷
　④消耗品の消耗、又はそれによる故障
　⑤本書のご提示がない場合
　⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、及び字句を書き換えた場合

3.本書は日本国内においてのみ有効です。

4.本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

＊ご販売店様へ
必ず全項目をご記入のうえお客様にお渡しください。
この保証書は本書に示した期間条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品番	ODS-595NS　ODS-596BS （引出し内の白いラベルで品番をご確認ください。）
お客様	お名前
	ご住所　〒 電話番号（　　　）　　－
お買い上げ日	販売店名･住所･電話番号
年　月　日	
保証期間（お買い上げ日より）	
3ヶ年	

（お願い）
お買い上げ日、販売店名、及び品番のわかる伝票、領収書等がありましたら、ここに貼り付けて、大切に保管してください。

お客様ご相談窓口

商品のお問い合わせ、アフターサービスは、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

◇お客様相談室　〒557-0063　大阪市西成区南津守２丁目１番30号　TEL06(6658)7382

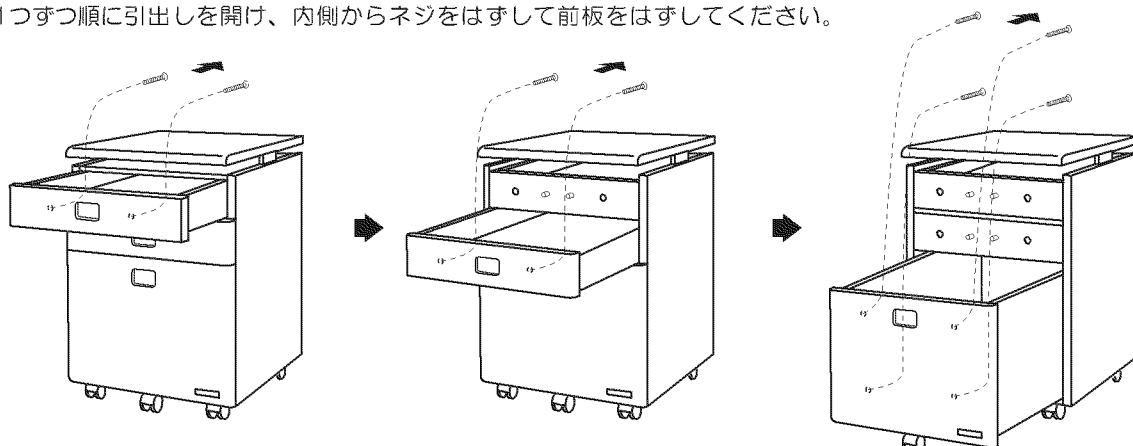
コイズミファニテック株式会社　〒557-0063　大阪市西成区南津守２丁目１番30号

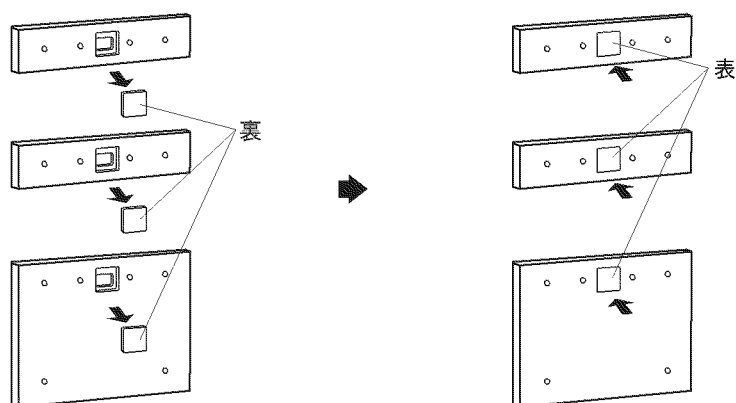
所在地、電話番号は変更になることがあります。あらかじめご容赦ください。

取手カラー板入替え方法

※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

❶ 前板の取り外し

1つずつ順に引出しを開け、内側からネジをはずして前板をはずしてください。

❷ 取手カラー板の入替え方法

前側から力を加えカラー板を取り外し、表裏を入れ替えてください。

❸ 前板の取り付け

1つずつ順に引出しを開け、内側からネジで前板を固定してください。

⚠取手の内側のくぼみが上にくるように取付けてください。